

あつたといえる。二十数名の大量の新入會員をむかえたことも
 今回が最初である。次回は中央大學で開催する旨決定された。

(一九五四・一・一七 林 榮夫)

經濟學史學會第八回大會

第八回大會は一九五三年十一月七・八の兩日、福島大學經濟
 學部で開かれ、第一日には總會と研究報告會があつた。座長を
 舞出長五郎幹事とする總會の、主要議題と報告決定事項は次の
 通りであつた。

- 1 學會本部において古典書繙刻の希望を會員に問いあわせた
 ところ、ペティ、ステュアートの繙刻希望が多いので、後日
 幹事會で、何れかに決定する。
- 2 去る十月十日東大で、マルクス 生誕一三五年
死没七五年 記念講演會が催
 された。
- 3 本學會の「本邦における古典の調査及び研究」は、各大學
 で着々進行中である。
- 4 新入會員十八名を満場一致で承認し、これで本學會々員は、
 合計二七四名になつた。
- 5 來年度大會は、春に横濱四大學合同、秋に關西大學で開催
 する。
- 6 日本經濟學會連合評議員の改選は、後日の幹事會に一任す
 る。

學界の動き

7 リカード全集の繙譯を學會の事業とするために、幹事會及
 び關係研究者の間で、準備委員會を構成する。
 第一日の研究報告會は、次の通りであつた。

共通論題||リカードとマルサス

(1) マルサスとリカード——思想史上の前後について——

(2) リカード「機械論」の成立と發展

(3) 穀法論争期における、マルサスとリカードの書簡上の利潤
 をめぐる論争

自由論題

(1) 國際價值論としての比較生産費説

(2) アダム・スミスと「アメリカ體制」

眞實氏は、機械論改變(原理第三版)のあとを、リカード新
 著作集による新資料からあとづけ、その改變の理由を社會的事
 情(ラディット)と先驅的學說(バートン)の影響であるとし、
 リカード學說の展開は、マカロック、ジョン・ステュアート・
 ミルなどよりラムジー及びジョーンズの反リカード派の方が、
 正系であるとした。堀氏は、一八四・九——一五・二にわた
 る收穫遞減の法則を利潤に適用する問題を中心とする往復書簡
 の中から、1短期利潤||マルサスと長期利潤||リカード、2需
 要説||マルサスと需給兩面からみる expence (後) cost ||
 リカード、という力點の置き方の相違、ならびに、この期のリ
 カードには勞働價值説がまだ現れず生産費説によつているとす

中央大學
院大學 川 尻 武氏

關西大學 大道安次郎氏

青山大學 榊 原 巖氏

長崎大學 眞實一男氏

關西大學 堀 經夫氏

一橋論叢 第三十一卷 第四號

る・從來の同氏の解釋を、新しい資料に基いて再確認した。大道氏は、ハミルトン（獨立期）からケアリ（南北戦争期）にいたる、アメリカ經濟學說の展開を英國古典派と比べて、兩者の相違を、前者の農業國的、資本不足に對する後者の工業國的勞働力の不足という・經濟條件の差違に見いだした。終了午後六時三十分。報告會終了後、當番校の厚意ある懇親會が開かれた。

第二日 自由論題

(1) 室鳩巢の社會經濟思想について、享保期社會經濟思想の一考察 千葉大 多田 顯氏

(2) デュブュイの相對的效用理論について 早稲田大 柏崎利之輔氏

(3) 生産力說の歴史的意味——フランス「百科全書」派の立場 京都大 河野健二氏

(4) 十七世紀英國における價值及び價格理論 山梨大 飯塚一郎氏

(5) 貨幣數量說の本質 秋田大 加藤一夫氏

(6) トーマス・ウィルソンの經濟論、利子・爲替論を中心にして 福島大 渡邊源次郎氏

多田氏は理氣說による君臣平等の社會觀を論じ、鳩巢の經濟論に享保期を背景とする人文主義的傾向のあることを指摘した。河野氏はデイドロの經濟思想を百科全書から紹介して、これをケネーとルソーの中間に位置づけ、生産の擔い手の代辯者として彼の生産力說が、それを阻む人爲的條件（獨占・特權・重税など）に反した點で正しかつたが、しかし社會關係の批判をルソーに譲らねばならなかつた點に、限界があるとした。渡邊氏はウィルソンの徵利論を紹介し、彼が宗教的人道主義の立場にあつたゆえんを明らかにした。報告會終了後、大塚金之助幹事より閉會のあいさつがあつて、大會の幕を閉じた。午後六時三十分。（桶倉典男・澁谷一郎）